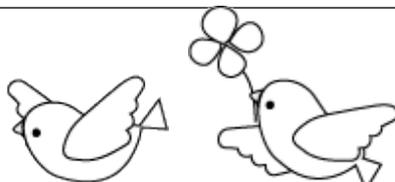


お釈迦様 入滅の時

涅槃会 (ねはんえ)



2月15日は、お釈迦様がお亡くなりになられた日です。
本堂で「涅槃図」という掛け軸をご覧になられたことはありますか？
「涅槃図」には、中央のお釈迦様を囲み
お弟子や天の神々、国王や動物たちが嘆き悲しむ姿が描かれております。
毎年、少しずつ「涅槃図」の中のドラマを ここでご紹介しています。

やさしい涅槃図絵解き

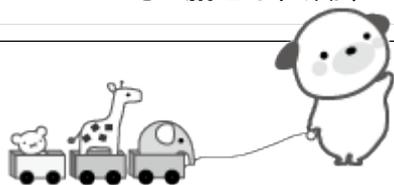
失神するアナンと 水をかけるアヌルダ

お釈迦様が最後に深い禅定に入られると、
比類なき美男子といわれた弟子アナンは、心乱れ慌て迷いました。
そして、お釈迦様がすでに涅槃に入られたかどうかもわからず、
兄弟弟子のアヌルダに「お釈迦様は涅槃せられましたか？」と尋ねます。

アヌルダは、一度否定し、しばらく時を経て
「世尊は涅槃に入られた」と答えます。
これを聞いたアナンは、悶絶し地に倒れ、死人のように失神してしまいます。

アヌルダは清冷の水をアナンの顔にそそぎ、助けおこし
「共に精進してお釈迦様の恩に報おうではないか」と諭します。
その言葉を聞いて、ようやくアナンは大悟したといわれています。

涅槃図の中で、失神し倒れているアナンを探してみてください。
その脇には、鉄鉢の冷水をかけているアヌルダがいるはずですよ。



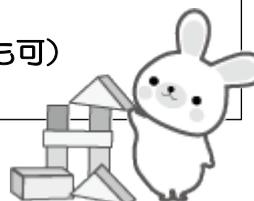
お稚児さんの募集

この春、お近くの福寿寺様（ふくじゅじ）にて庫裏落慶法要が行われます。
庫裏（くり）とは、お寺の台所という意にとどまらず、
お寺の和尚様やその家族が寝起きする建物のことです。
今回は、その建物が新しく完成したお祝いの法要となるため、
福寿寺様では、お稚児行列のお稚児様を募集されています。
お子様方の健やかなご成長を願う稚児行列に、
どうぞお誘い合わせの上、ご参加ください。

- 日時 : 平成26年5月11日（日）朝 8:30 出発 10:00 終了
- 参加費 : 一名 5,000円
- 申込期限 : 平成26年3月31日
- 申込先 : 福寿寺（ふくじゅじ） ☎ 0575-46-2747
住所 関市武芸川八幡583

※準備するもの： 白足袋（白の靴下）・草履（靴でも可）
しごき帯（なくてもよい）

お稚児駐車場は、関市武芸川事務所
お稚児出発場所は、八幡宮第一鳥居
おねりコースは、八幡宮第一鳥居 ～ 福寿寺（約500m）
参加者の方々には記念品があるそうですよ♪



大智寺だより

平成26年 如月
Vol.48

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話: 058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去の紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

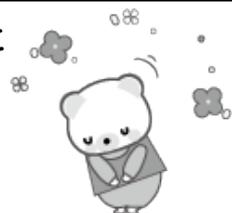
1月号発行部数
250部

ご愛読
ありがとうございます

～ シリーズ 美濃西国三十三観音霊場 その⑧ ～
4年に一度の総開帳 平成26年4月6日(日)～4月20日(日)

観音様ののぼりを奉納いただき、ありがとうございました

笠井健二様 林真太郎様 村井伍一様
各務祐二様 渡辺正司様 近松道代様
古田泰規様 古田ミヨ子様 古田葉子様



お寺では、総開帳の期間中境内に立てる観音様ののぼりを奉納して下さる方を募集しております。
のぼりには、施主様のお名前を記入させていただきます。(一本 2,200円)



大智寺巡礼バスツアー 参加者募集

● 日程 平成26年4月8日(火)・9日(水)

(日帰り2日間かけて一緒に美濃西国三十三観音霊場へお参りします)

● 参加費用 お一人様 13,000円

貸切バス代 + 昼食2回分 + 御朱印料(1ヶ寺100円 計3300円) + 旅行保険代 + 御納経帳

※ 美濃西国霊場会指定の御朱印帳をすでにお持ちの方は、12,500円となります。

● 行程予定 (両日 集合8:00・解散17:30前後を予定)

【一日目】

大智寺周辺 ⇒ 龍福寺 ⇒ 神光寺 ⇒ 立蔵寺 ⇒ 新長谷寺 ⇒ 徳雲寺 ⇒ 宝積寺
⇒ 万尺寺 ⇒ 祐泉寺 ⇒ 小山寺 ⇒ 龍福寺 ⇒ 清水寺 ⇒ 禅徳寺 ⇒ 日龍峰寺
⇒ 吉祥寺 ⇒ 来昌寺 ⇒ 宝勝寺 ⇒ 鹿苑寺 ⇒ 大智寺周辺 (17ヶ寺)

【二日目】

大智寺周辺 ⇒ 弘誓寺 ⇒ 三光寺 ⇒ 甘南美寺 ⇒ 東光寺 ⇒ 広厳寺 ⇒ 大龍寺
⇒ 法華寺 ⇒ 護国之寺 ⇒ 崇福寺 ⇒ 美江寺 ⇒ 善福寺 ⇒ 乙津寺 ⇒ 願成寺
⇒ 恵利寺 ⇒ 永昌寺 ⇒ 大智寺 ⇒ 大智寺周辺 (16ヶ寺)

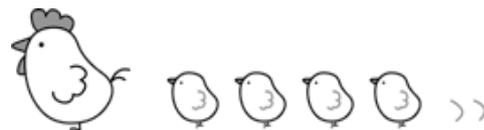
※ 集合場所や解散場所は、参加者の募集後に再度ご不便のないよう考慮してご案内致します。
ちなみに今回は、北野JA跡地や西山バス停、出屋敷を回りました。
また、何かの事情で行程を変更する場合があります。ご了承ください。

●お申込み締切 2月28日まで

大智寺まで、参加費用をご持参の上お申し込みください。

お友達同士まとめてお申込みされる場合、ひとり一人のご住所とお電話番号を伺いますので、
よろしくお願いたします。

霊場のご紹介



第二十二番札所 : 臨済宗妙心寺派 萬尺寺(美濃加茂市) ご開帳: 聖観世音菩薩
鎌倉時代に建てられた木曾川沿いのお寺、子育て観音や福寿稻荷も拝めます。

第二十三番札所 : 臨済宗妙心寺派 吉祥寺(関市) ご開帳: 聖観世音菩薩
開創当時は臨済宗建長寺派であったお寺、山辺の荒祠にひっそりとお地藏様がおられます。

第二十四番札所: 高野山真言宗 神光寺(関市) ご開帳: 十一面観世音菩薩
前9年の役に出陣した源頼義が戦勝を祈願し、後に凱旋して伽藍を建立したお寺。



～ 観音様の教え 『延命十句観音経』 ～

第八句：暮念観世音（ぼねんかんぜおん）

子どもも唱えられる 一番短いお経から、
観音様の教えを簡単にご紹介。



第八句は、前回の第七句「朝念観世音」とよく似ています。
違う部分は、一番初めの漢字「朝」と「暮」のみで、あとは同じ漢字が並んでいます。
このように前の句と後の句が対（つい）になっている部分を「対句（ついく）」といい、
2つの句のコントラストを浮かび上がらせ、全体を強調する効果があります。
つまり、このお経の中でもこの第七句と第八句は強く伝えたい部分だということです。

第八句「暮念観世音」・・・夕な夕なに 観世音を念じます。
「念ずる」の意は、前回お伝えした通りです。

では、第七句と第八句の全体を見てみますと、朝な夕なに観音様を念じる姿が思い浮かべられます。
そしてだんだん、朝でも昼でも夕方でも、観音様を念じるようになり、
ついには、一日中観音様を念じているうちに、
とうとう自分と観音様とが、別々の存在とは思えなくなり、自分が観音様に吸収されていきます。
朝な夕なに観音様に手を合わせ、念ずることによって、
「自分と観音様がひとつになる」
これが、このお経で強く皆様に伝えていることです。

今月のひまわり

久しぶりに雪の少ない冬となり、物足りないような年の始まりとなりました。悪い風邪の流行が騒がれるこの頃、皆様いかがお過ごしですか？

さて、2月3日は季節の分け目「節分」です。この日は大寒の最終日で寒さも峠となりますが、翌日は立春、暦の上ではとうとう春を迎えます。幼少の頃、節分行事で鬼役の先生が上手に演じるので、半泣きになりながら必死に豆を投げましたが、鬼は幼心にも本心に恐ろしいものでした。

そんな恐ろしい鬼ですが、一体どこにいますか？ 仏教では、3匹の鬼が人の心の中に住んでいると教えています。一匹はあれこれむさぼり、決して満たされず、怒っている赤鬼、一匹は物事に執着するあまり、失うことを心配している青鬼、もう一匹は仏様の教えに耳を傾けない黒鬼。

日々の暮らしの中で、自分の心がどのように動いているか振り返ってみると、鬼の存在がよくわかります。なぜあんな事を言ったのか、どうしてあの時こうしなかったのか…人の心は悲しいかな瞬時に鬼に支配されてしまいます。

「鬼は外 福は内なる 外の鬼 つかまえてみれば 内の鬼なり 黄檗五十七代玄妙管長の歌にもあるように、まさしく鬼は心の内にいます。鬼に負けず、仏様の教えを楯に、必死に豆をまき豊かな日々を送れたらと願います。もうすべ、春ですね。」



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里2号のおばあちゃん 春菊の甘すっぱい和え物

- ① 春菊をゆでて、冷水にとって絞ったら1cmくらいに切る。
- ② 梅干しを細かく切って、ナメタケやゴマを好きな分だけ入れて春菊と和える。
- ③ ちょっと味をみて、梅干しが効いてすっぱいようなら少し砂糖をいれる。味をはっきりさせたい場合は、めんつゆをちょっと入れるといいかも。
- ④ 器にこんもり盛って、出来上がり。



春菊は、お店で売っとるような大きな葉にはなかなかならんけど、葉を採るのが大変なんやよ。たくさん採ったつもりでも、ゆでると大した量やないんやて。でもそれがお～いしいんやよね。



～ うちの宗教って、どんなやつけ？ ～

第十三回：不立文字（ふりゅうもんじ）

大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話



お釈迦様は、自分が生きていくこと、老いること、病気になり死ぬことをとても恐れ、苦悩しました。

「苦悩する自分とは何か」「どうしたら克服できるのか」

仏教は、自分の内面へ内面へと探究していく宗教とされています。

この仏教の根本を確認した上で、

達磨大師様が世の中に対して「禅とはこういうものだ」と掲げられたお言葉を少しずつみていきます。

- 不立文字：自分の心の中にある仏心の自覚そのものは、文字では表せない。

お釈迦様は坐禅を通して悟りを得、生老病死の苦悩から解放されましたが、悟りを得た時の感動や喜びは、文字や言葉で表せるものではない、とのお言葉です。

いくらおいしい料理でも、その料理をまったく知らない人に、いくら説明しても味やおいしさを正確に伝えることはできません。

それと同じで、

禅とは、他人の言葉や説明によって頭で理解できるものではなく実際に自分が坐禅をし、自分の身体や心で感じるものなのだ、と達磨大師様は教えて下さっています。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

2月23日（日） 一回 500円
（朝8時～9時） （内 300円は義援金）
要申込

1月写経会 備忘録

1月の写経会は、雪も降らず 寒いながらも穏やかに迎えることができました。写経後のお茶の時間には、抹茶茶碗の正面の見方から話が膨らみ、たまたま茶碗に書かれていた「拈華（ねんげ）」という言葉の意味を知ることができました。大智寺の本堂正面には「拈華室（ねんげしつ）」と書かれており、仏法を説く場であることを示しています。

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから、「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓
1区画：38万円～
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、また、その方のご希望により費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めてご説明いたしますので、ご予約の上、ご来山ください。